

事務事業名		商店街活性化対策事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	21 活気あふれる商業の振興			
	基本事業名	01 元気な商店街づくり		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 - 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		大船渡市補助金交付規則		予算科目 会計 01 款 07 項 01 目 02 事業 02	
所属	部課名	商工港湾部商業観光課			
	係名	商業係	電話 0192-27-3111 内線 106		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 商店街が販売促進や集客のための事業を実施し、商店街の活性化を図る場合に補助する。 主な業務は、①団体からの事業計画書提出、②計画書の審査、③団体による事業実施、現場確認、④補助金請求書、事業実績書の提出、⑤精査、支払。 事業費は、対象事業者への補助金の交付、情報交換会参加の旅費等。				全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 大船渡大通り商店街に補助金(1,500,000円)を交付。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 中心市街地活性化情報交換会への参加	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 制度案内通知発送団体</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>イ 情報交換会参加回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 制度案内通知発送団体	団体	イ 情報交換会参加回数	回	ウ	
名称	単位								
ア 制度案内通知発送団体	団体								
イ 情報交換会参加回数	回								
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市内各商店街等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 市内各商店街等参加団体数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>キ 事業計画書受理件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ク 情報交換会参加回数</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 市内各商店街等参加団体数	団体	キ 事業計画書受理件数	件	ク 情報交換会参加回数	回
名称	単位								
カ 市内各商店街等参加団体数	団体								
キ 事業計画書受理件数	件								
ク 情報交換会参加回数	回								
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ○商店街が活性化する。 ○魅力ある商店街になる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 補助金交付件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ 情報交換会参加人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 補助金交付件数	件	シ 情報交換会参加人数	人	ス	
名称	単位								
サ 補助金交付件数	件								
シ 情報交換会参加人数	人								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 商店街が賑わっている。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">財源内訳</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">年度</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>26年度(目標)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>1,025</td> <td>1,521</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>1,025</td> <td>1,521</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>20</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>80</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>1,105</td> <td>1,553</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>団体</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>回</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>団体</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>件</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td>回</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>件</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		事業費	財源内訳	単位	年度						23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	投入量	国庫支出金	千円								都道府県支出金	千円								地方債	千円								その他	千円								一般財源	千円	1,025	1,521	7	7	7	7		事業費計(A)	千円	1,025	1,521	7	7	7	7		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		延べ業務時間	時間	20	8	8	8	8	8		人件費計(B)	千円	80	32	32	32	32	32		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,105	1,553	39	39	39	39	⑤活動指標	ア	団体	1	1	—	—	—	—	イ	回	—	—	1	1	1	1	ウ								⑥対象指標	カ	団体	1	1	—	—	—	—	キ	件	1	1	—	—	—	—	ク	回	—	—	1	1	1	1	⑦成果指標	サ	件	1	1	—	—	—	—	シ	人	—	—	2	2	2	2	ス							
事業費	財源内訳				単位	年度																																																																																																																																																																															
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)		26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																																													
投入量	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																																			
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																																			
	地方債	千円																																																																																																																																																																																			
	その他	千円																																																																																																																																																																																			
	一般財源	千円	1,025	1,521	7	7	7	7																																																																																																																																																																													
	事業費計(A)	千円	1,025	1,521	7	7	7	7																																																																																																																																																																													
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																													
	延べ業務時間	時間	20	8	8	8	8	8																																																																																																																																																																													
	人件費計(B)	千円	80	32	32	32	32	32																																																																																																																																																																													
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,105	1,553	39	39	39	39																																																																																																																																																																													
⑤活動指標	ア	団体	1	1	—	—	—	—																																																																																																																																																																													
	イ	回	—	—	1	1	1	1																																																																																																																																																																													
	ウ																																																																																																																																																																																				
⑥対象指標	カ	団体	1	1	—	—	—	—																																																																																																																																																																													
	キ	件	1	1	—	—	—	—																																																																																																																																																																													
	ク	回	—	—	1	1	1	1																																																																																																																																																																													
⑦成果指標	サ	件	1	1	—	—	—	—																																																																																																																																																																													
	シ	人	—	—	2	2	2	2																																																																																																																																																																													
	ス																																																																																																																																																																																				

事務事業ID	0377	事務事業名	商店街活性化対策事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	開始時期は不明であるが、不景気による消費者の買い控えと、郊外型大型店の進出等により、商店街の売り上げが伸び悩み、経営者の高齢化により、商店街の空洞化が進んでいることへの対策として創設された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	商店街からの消費者離れは改善が見られず、依然として活力の衰退が続いている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市議会議員より、よさ恋グループの責任者から商店街の活性化対策として、本事業の継続を望む声とともに、補助金だけではなく人的援助を求める話があったとの要望が寄せられた。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 市内商店街に対する関心が高まり、商店街の活性化につながっている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 商店街の活性化を図ることは、街に活力を与え、市経済の活性化につながるものである。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 活性化を図ることを意図として、当事者である市内商店街等を対象としており、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 継続的な事業を実施することにより成果の向上が図られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 実施主体の負担が増すことから、商店街における独自イベント等の開催は非常に困難な状況となり、商店街の衰退を招く恐れも生ずる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) 中小企業振興事業がある。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業として中小企業振興事業があるが、本事業は商店街の活性化を目的として、対象を商店街に絞り込んでおり、統合は出来ない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の削減は、成果に直接的に影響を及ぼすため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 現状の人員、体制は、必要最小限のものである。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 対象を商店街に絞り込んでいるが、毎回申請内容を審査しており、同一団体への安易な継続的助成は行われていない。また、イベント等に際して、経費の相当部分を、実施主体となる団体が独自負担している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">① 目的妥当性</td> <td style="width:10%;"><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td style="width:10%;"><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>商店街の活性化のためには、集客の継続が図られるような事業の展開が望ましく、効果的なアイデアが創出されるよう、積極的に協議を行っていくことが必要と考えられる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>多種多様なアイデアに対応できるよう、事業費の拡大を図る必要がある。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			●																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>売上げの伸び悩みに加え、商店街経営者の高齢化によって、商店街としてのイベント等への取り組み姿勢が消極的となっているため、先頭に立って商店街の活性化に取り組む人材の育成が必要である。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	商業観光課長	
---------------	-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input checked="" type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input checked="" type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>適切な事務執行がなされている。</p>																																	
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">① 目的妥当性</td> <td style="width:10%;"><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td style="width:10%;"><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災しなかった商店街:集客の継続が図られるような事業展開の検討を行う。 ・被災した地域:新たな商店街の形成状況に応じた事業展開の検討を行う。 	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持		●	×	低下		×	×
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																	
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																	
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																	
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																	
		コスト																																	
		削減	維持	増加																															
成果	向上			○																															
	維持		●	×																															
	低下		×	×																															

5 最終評価結果

(1) 政策推進会議等での指摘事項
